

優秀賞（中学校部門）

夢あふれる和歌山

和歌山県立日高高等学校附属中学校 三年 哉原 圭登

「宇宙開発の最先端となり、人々の夢に満ち溢れている。」2040年の和歌山が、こんな様子だったら、と私は思っています。

世界では今、小型ロケットの開発競争がかなり熱いようです。また、和歌山県では、串本の高校で宇宙に関するコースが作られたり、民間ロケットカイロスの打ち上げが行われたり、宇宙に関する出来事が話題になっています。これから先、宇宙開発がもっと注目を集めると同時に、和歌山でその宇宙開発、またそれに関わる人材の育成が進められ、より活気に満ち溢れた県になっていったってほしいです。

現在の和歌山では、人口の減少が進み、このままいけば、2040年には、人口が約15万人ほど減少すると考えられています。その原因の一つとして、進学・就職するために、若者が県外へ出て行ってしまふことがあるようです。実際、和歌山には大学が少なく、就職先はたくさんありますが、「大学で県外に出たことを機に和歌山には良い職場がなく、就職先も県外のままに行ったほうが楽得」という認識をもった人が多いのではないかと考えます。しかし、今世界で注目される宇宙について、専門的に学ぶ場所を用意し、その知識を活かして働ける職場が近くにできれば、県内の若者を留めるだけでなく、県外から、宇宙に関心を持った若者を呼び込むことができるのではないのでしょうか。

宇宙開発は、世界の様々な問題を解決する可能性があるそうです。宇宙の無重力空間を利用して、新薬を開発できれば、病に苦しむ多くの人を救う事ができるかもしれないし、新しい品種の植物を作ることができれば、食料問題を解決する鍵になるかもしれません。また、人工衛星を低コストかつ高頻度に打ち上げることができるよう

になれば、宇宙空間を介した「宅急便」ができるようになるかもしれません。夢ある宇宙に関する仕事に携わりたいと思う人は、日本にもたくさんいるでしょう。

実際、私もそのうちの一人です。私は母に、鹿児島種子島宇宙センターで打ち上げられたロケットの動画を見せてもらいました。とてつもなく重く大きい機体が、大きな煙と炎をあげて、地上からは見えないほど遠い空へ飛んでいく姿に、私は圧倒されました。沢山の人の期待や夢を乗せて飛び立つこのロケットに、強い憧れを抱きました。和歌山県には、日本には数少ないロケットの打ち上げ場があります。ロケットの打ち上げがここで成功すれば、それを見て私のように、宇宙開発に携わりたいと思うようになる人が必ず出てくるでしょう。和歌山県で宇宙について専門的に学ぶ場所が用意され、その近くに宇宙開発を行える会社ができれば、そういった人たちはきっと活用できるはずです。

和歌山で、宇宙について学び、その知識を使って宇宙開発に携われる環境が整えられることで、多くの人々に注目される。また、それをきっかけに、県外からも若者が訪れだし、宇宙関係の仕事だけでなく、県内の様々な企業にもスポットライトが当てられる。それにより、和歌山がもっと活気と夢に満ちた街になっていけたら、本当に良いことだなと私は思います。この作文を書くにあたって、私は和歌山に様々な課題がある事を知りました。故郷が抱える問題を解決するためにも、和歌山で宇宙関係の仕事に携わりたいという自分の思いが、改めて強まりました。その私の夢を叶えるため、これからは勉学に励み、自身の力を伸ばすための努力をより一層積み重ねていこうと思います。